

第2回松原地区のまちづくり有識者会議について

1 会議概要

- 日 時 令和6年9月30日(月) 10時00分～11時45分
- 場 所 リンクステーションホール青森 4F 小会議室(1)
- 案 件 (1) 第1回有識者会議の議事要旨・意見への対応について
(2) 必要機能について
- 出席委員等 8名(委員7名及びオブザーバー1名)

2 有識者からの主な意見

【棟方志功記念館の活用・統合施設について】

- ・棟方志功だけではなく、青森市が所蔵する様々な美術・芸術作品や民俗史料等を再価値化し、より活用できると新たな創造や可能性につながっていく。
- ・機能がない場所、目的がなくても居られる居場所になるところが重要。
- ・プラネタリウムとともに科学を学ぶことができ、子ども達が訪れたい、子ども達をここで学ばせたいと思ってもらえるような機能を持たせてほしい。
- ・学習機能をより高めるためには、関連補助資料の充実、音声ガイダンスの利用、解説動画の用意や、テーマ別に定期的に展示を入れ替えること等も必要。
- ・5つの機能を示すだけではなく、運営も含めた具体的な在り方を考えていくことが必要。
- ・ダンスやバンドの練習ができるなど、10代、20代の若者も訪れるような楽しい松原地区にしてほしい。
- ・他自治体の事例等も参考にしながら、残すべきものは残す一方で、10年、20年先を見据え、松原地区というゾーンに10年後に住んでいるという考えのなかで新しくつくることのできるものはつくっていくことが重要。
- ・場所や規模などの建て方については、これからの少子高齢化社会を考えた場合に、十分に議論することが必要。
- ・経費がかかるから止めるという考え方はせずに議論を進めていただきたい。

【エリア全体・周辺施設や資源等との連携について】

- ・平和公園にある記念碑、モニュメント、ジョギングコースや、文芸のこみちにある文芸碑等を活用しコラボレーションするなど、機能をより多面的・重層的に捉えることが必要。
- ・棟方志功記念館通り(市道勝田松原3号線)を重要なものとして位置付け考えていくことが必要。また、東西に大きくつながる緑地帯(1号遊歩道緑地)は、シビックプライドにもつながるものになるのではないかと。

3 今後の予定

- 令和6年11月頃 第3回有識者会議の開催
- 令和7年1月頃 パブリックコメントの実施
- 令和7年3月目途 ビジョン策定